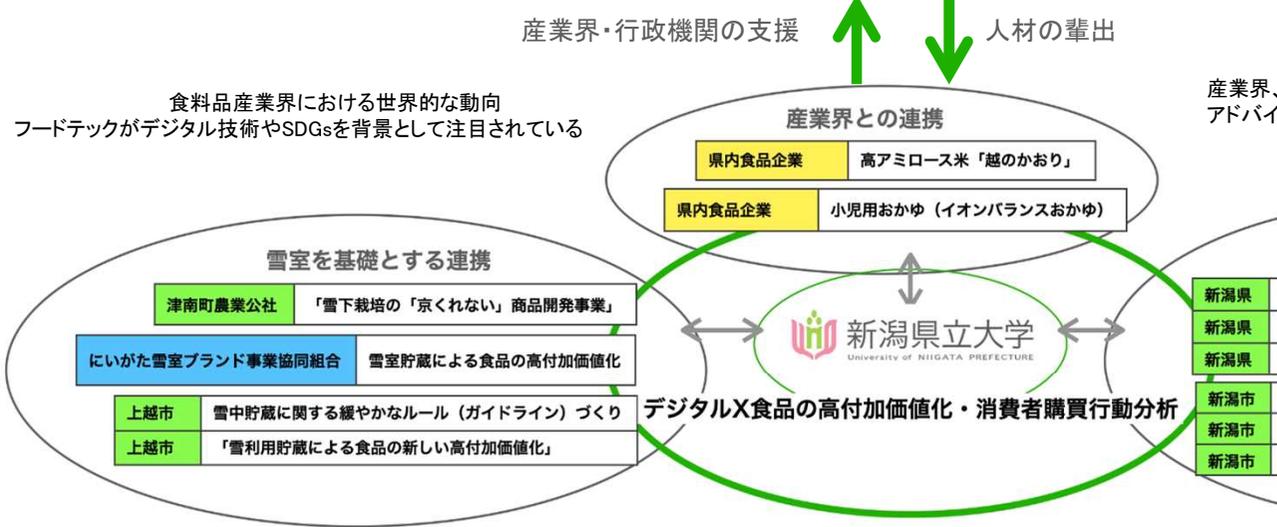
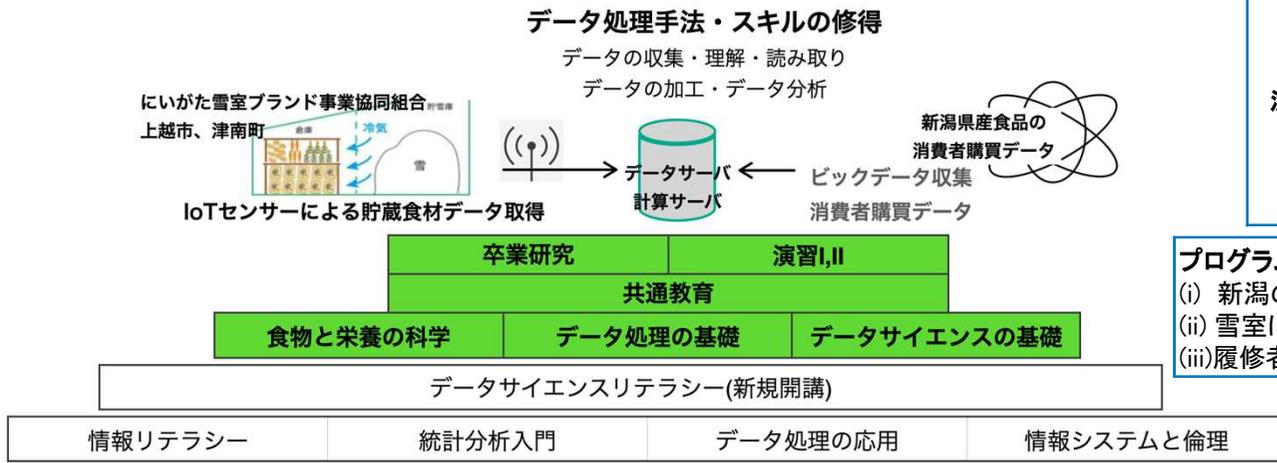


新潟県の主要産業である食料品産業のデジタル化・高付加価値化を牽引する高度専門人材を育成するため、県内の産業界・行政機関と連携し、デジタル教育設備を活用して、次のような高度なスキルと実践力を修得するための演習・実習によるデジタル×専門分野融合型の教育プログラム

- (1) デジタル化に必要なとされる基盤的な知識とスキルを修得
- (2) 食料品産業の高付加価値化と消費者購買行動分析に関するデジタル技術、データ分析を実践

カリキュラムの概要

専門分野×デジタル×地域産業



産業界・行政機関との連携実績を生かして産学官連携により、
「デジタル技術、フードテックの知識」
を持つ専門人材を食料品産業界へ輩出する教育の必要性

教育プログラムを支える優位性の3要素

- 【専門分野】教育プログラムの核となる食品学・食品開発において健康栄養学科が持つ教育研究基盤
- 【デジタル】データ分析力と経済分析力を人材育成の柱とする国際経済学部が擁する優れたデータサイエンス教育のリソース
- 【地域産業】新潟が誇る食料品産業の企業・研究機関と密接な連携を有する

演習・実習	専門演習 I・II	食品の消費者購買行動に関わるデジタル・データの収集、データの理解と分析、食品高付加価値化につながる食品開発へのフィードバックのためのスキルを高めるための高度教育
	卒業研究	IoTセンサー等遠隔操作による雪室貯蔵プロセスのデジタル情報の収集、読み取り、分析の実践および食品開発への応用のための実践的スキルの向上のための高度教育

プログラム履修者への共通教育

- 新潟の企業実務者による「食品企業における商品開発の現状と課題」の受講
- 雪室における食材貯蔵現場でのIoTセンサーの設置などの実習
- 履修者全員による合同コンファレンス、連携企業・行政機関関係者への報告会

運営委員会

本プログラムの運営に責任を持つ運営委員会を設置
【構成と役割】

- 国際経済学部、人間生活学部所属の専任教員で構成
- アドバイザー委員会の意見を踏まえ、自己点検・自己評価し、自己点検・評価委員会に報告し、レビューを受ける
- 質保証委員会から指摘された改善点を次年度の教育プログラムに反映する

全学の教学マネジメント

全学の教学マネジメントである自己点検・自己評価委員会、質保証委員会を中心としたPDCAに本プログラムの運営委員会を組み込む

事業責任者

国際経済学部教授 石塚辰美 tishiz2@unii.ac.jp